



① @ワンダー

「@ワンダー(アット・ワンダー)」は、店名そのままに掘り出し物に興奮するサブカルチャーの古書店。コンセプトは"20世紀の記憶装置"。映画、SF、ミステリー、スポーツの分野で、絵葉書や芸能雑誌、ポスター、パンフ、チラシまで幅広く扱う。昭和61年(1986)の開業以来、我々の琴線にふれるために圧倒的な支持を集める。面白本コーナーは毎日入れ替わる"名所"だ。店内に展示する映画ポスターも見ただけで楽しいと、毎日来店する人もいるそう。店主は買い入れにも力を入れる。大量の場合は出張買取もOK。

03-3238-7415
千代田区神田神保町2-5-4 開拓社ビル1・2F



⑦ 神保町シアター

2007年のオープン以来、1960年代の作品を主とする日本映画を中心に上映する「神保町シアター」。いわゆる名画座と呼ばれる劇場だ。昭和の映画界を彩った銀幕の女王たちが輝いている。建物外観は、"黒い卵がひびわれた"ところを表すデザイン。同館によると「何か新しいものが生まれるところ」を意味する。上映される作品とは裏腹に、建物は現代的な洗練されたデザインである。また、運営主体は異なるが、同施設内には、吉本興業の若手芸人が活躍する小劇場「神保町よしもと漫才劇場」が併設されている。

03-5281-5132
千代田区神田神保町1-23



② 岩波ホール

「岩波ホール」は昭和43年(1968)の開館から6年後、映画館としての興業を始め、ミニシアターの先駆けとなって世界中の名作映画を上映する。近年は、中東やアフリカ、ヨーロッパの隠れた名作、優れたドキュメンタリーなど、より幅広い多様な世界観をもつ作品を取り上げている。観客の動員数に関わらず期間を決めて上映することや、予告編上映の際に企業CMは流さないなど、独自のシステムで運営する。また、何らかの理由でカットされたものや上映されなかった映画なども取り上げ、日本映画の名作を世に出すことを理念としている。

03-3262-5252
千代田区神田神保町2-1 岩波神保町ビル10F



⑧ 石田書房

映画に関わる仕事をしてきた「映画人」の店主が作り上げる、映画好きのためのお洒落な空間。場所は三省堂書店の裏側、すずらん通りにあるビルの2階だ。台本・シナリオなどの映画関連資料や、脚本集&脚本関連本・黒澤明・チャンバラ映画・日本映画全般・映画評論などの映画関連書籍を専門に扱うお店で、日活映画・ゴダール・トリュフォーなど、ヌーベルバーグ時代関連の書籍を扱っている。映画に登場する小道具や装身具などの美術に関する書籍もある。本棚はきちんと分類・整理されていて、どこに何が並んでいるのかとても分かりやすい。

03-3292-7525
千代田区神田神保町1-19 藤本ビル2F



③ 矢口書店

大正7年(1918)創業、昭和3年築の木造3階建て店舗は、古書店街・神田神保町の風景を堂々と特徴づける。「映画・演劇・シナリオ・戯曲」と書いた看板を掲げ、その専門分野で無類の商品量と品ぞろえを誇る古書のお舗、「矢口書店」だ。「新しいものが氾濫するこの時代、昔の写真が見たいと、古いものを遡って欲しい人が多い」と店主。映画・演劇関係者も数多く訪れる。『月刊シナリオ』『キネマ旬報』など雑誌の既売号も充実。映画ポスター、パンフレットも扱う。寄席演芸専門情報誌『東京かわら版』も販売。

03-3261-5708
千代田区神田神保町2-5-1



⑨ ヴィンテージ

この店は古本屋と言っても置いてあるのはほとんどが雑誌で、ポスターからチケットまで映画をめぐるあらゆる印刷物が揃っている。店内1階は、映画・演劇・スポーツ・サブカルチャーと、大きく4つのカテゴリーに分かれ、細かく分類・整理されている。店内奥の映画コーナーには、パンフレットやポスターが飾られており、中でも注目なのがプレスシート。映画の公開前に発行されるマスコミ向けパンフレットで、映画ファンなら真っ先に手に入れたい品だ。2階フロアでは音楽、ファッション、アイドル、アダルトの雑誌やグッズ類が数多く揃う。

1階03-3261-3577、2階03 - 3261 - 3633
千代田区神田神保町2-5 センタービル1、2階



④ 一誠堂書店

古書店界の名門「一誠堂書店」は、明治36年(1903)創業の老舗。洋装本、洋書、古典籍(和本、巻物、古地図)など文化系書物全般を扱う。若手社員の意見で書棚に加わったのが映画・演劇の本だ。国内外の大学、図書館、美術館との取引も多い。「うちの柱は一般書、洋書、古典籍の3つ。売れなくても、どれかをやるめ考えはないんです。他店がやらなくても、うちがやっていたらお客さんは来るでしょう。古本屋は持続が大事です」(店主)。値段の過当競争が業界に及ぼす影響を配慮し、HPへの商品掲載は一部にとどめる。

03-3292-0071
千代田区神田神保町1-7



⑩ 大雲堂書店

古書全般を扱い、各ジャンルの良書を手しやすい価格で販売している。武道書、漢詩や漢文、東洋医学などの専門書や学術書から、文学全集や宗教に関する本、囲碁や将棋など趣味の本など品揃えは多種多様。入口付近には様々な言語の辞典・事典類などが並び、英語・独語・仏語はもちろんルーマニア語や、『医学英語文例辞典』(朝倉書店、昭和58年)や『新約聖書ギリシア語辞典』(キリスト教新聞社、昭和53年)など専門的な辞典も揃う。老舗だが、間口が広く入りやすい雰囲気、地下鉄・神保町駅からも近く、古書店めぐりの起点ともなる。

03-3294-0616
千代田区神田神保町1-9



⑤ 虔十書林

虔十書林はなかなか一言で言い表せない店だ。新しめの雑誌やムック・実用書・豆本・70年代、80年代のアイドル雑誌・特撮モノの図鑑など、ジャンルを問わず様々な書籍が並ぶ。本はすべてラッピングされていて中を見ることはできないが、それも本を大切にすればこそ。人気があるのは幻想文学・60年代のイラストレーターのもの・音楽・児童書や挿画本。また、映画のパンフレットも豊富に揃う。作品別・俳優・女優別・監督別などでも選べる在庫が確保されており、SF・ホラー・推理ものなどの珍品、稀少なものもある。宮沢賢治の書籍も豊富だ。

03-5282-3963
千代田区神田神保町1-15 清田ビル1F



⑪ けやき書店

昭和62年(1987)開業の「けやき書店」は、「文学好きにはたまらない品ぞろえ」で一目おかれる。芥川・直木賞作家、明治~現代の初版本や限定本、直筆書簡類、初出雑誌を扱う近代文学の専門店だ。特に太宰治、坂口安吾ら無頼派の初版本が充実。現在、活躍中の作家はサインの有無がポイント。同店によると村上春樹、京極夏彦、宮部みゆき、高村薫の署名本は特に人気が高く、さらに別格が金原ひとみ、綿矢りさ。目録は年4回発行。「本の発送先は自宅宛で、目録は一刻も早く見たいから会社に送って、という人もいますよ」(店主)

03-3291-1479
千代田区神田神保町1-9 ハヤオビル6F



⑥ 喇嘛舎

ジャンルは詩歌集、文学、全共闘、美術、イラスト、写真、演劇、舞踏、プロレス、つり、子供の本と、何の脈絡もなく並んでいるように見えるが、これを「60年代、70年代の文化全般」とくくと妙に納得。店主が音楽、映画、舞台など様々なジャンルの人々と太いパイプを持っており、ここにはレア商品が集まってくる。中でも天井桟敷の関係者から直接買い取った寺山修二の直筆原稿のコレクションは、おそらく日本一。海外から外国人が買い付けに来るような、森山大道や荒木経惟などの写真集や、円谷プロ関連の書籍、その他漫画なども扱う。

03-3233-5635
千代田区神田小川町3-16 池久ビル2F



⑫ 小宮山書店

昭和14年(1939)開業の古書店「小宮山書店」は、ファッション、サブカルチャーから文学、哲学、心理学、歴史、宗教まで6フロアに分けて展示販売。特にヴィンテージ写真集や写真家によるオリジナルプリント、現代アート作品、三島由紀夫関係が充実。取扱いジャンルが幅広く、「フロアごとに面白い棚づくりをしているので、『何時間でも見ていて楽しい』と好評です」(店主)。毎週末に開催するガレージセールは掘り出し物多数。年に1~2回オールカラーのカタログを発行。古本や絵画、プリントの買取も行う。日曜・祝日も営業。

03-3291-0495
千代田区神田神保町1-7



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

